

師匠選びで 勝ち負けが決まる

それでは今日は、
「師匠選びで勝ち負けが決まる」
というテーマで話していきます。

学習に関して、ものすごく大事なポイントを
話していきます。

「どういうノウハウを学ぶか」というので
「教材選び」というのは、もちろん
大事なんですけど、

結局、ノウハウ自体を学んでも
「学習ができるか？」
「ノウハウが身につくか？」

が大事。

てか、そもそも出来ないという意味が無い。

僕自身がいつも生徒さんに

「学習の仕方を覚えた方が効率的」

だと言ってるんですが。

当然「学習が上手な人」ほど成長が早いです。

「学習が下手な人」って

「どんなに優れたノウハウ」とか

「質の高い情報」を取り入れたとしても
学習が出来ないんだから無意味になる。

当然、上手くいかないですよ。

ノウハウを学んで、

**そのノウハウを実践で使って結果を出すという
「学習プロセス自体を学ぶ」
ってのは非常に効率的。**

※「ノウハウ」という言葉は
「物事を上手くこなすため、成功するための
体系立てた知識技術、コツ、秘訣」
という意味で使っています。

「学習ノウハウ」「学習プロセス」に
意識を向けて欲しくて、
今回は話すんですけど。

例えば、今は色々なノウハウとして
恋愛、ビジネス、筋トレ、楽器の弾き方、と
たくさんあります。

そのため中には、例えば

「無料でネットで調べた情報で十分です」

「書籍とか独学で十分です」

「色んな人から学んで良いとこどりしよう」

という人も結構いて、こういう人の学び方を聞くと、
やっぱ僕なんかは

「本当、学習の仕方が下手なんだな」

って思うんですね。

学習が下手な人に限って、
こういうことを言い出すわけですよ。

人間って、

「1年もあれば別人のように成長できる」
んですね。

僕自身も1年1年で実際に
成長を体感していることなんですけど。

バンバン成果を出してる人ってのは、
客観的にも、そういう風に見えるんですよ。

※成長を判断する2つの基準

1：明確な基準があるもの

～数字で判断、定量測定、行動量、など～

ex. 恋愛経験人数、体験人数、声かけ数、
作ったコンテンツ数、売上の増加、
成功確率の向上

2：明確な基準が無いもの

～考え方の変化、人格の変化、心の変化、など～

ex. コミュニケーションの取り方の変化、
目つきや態度の変化、男らしさ、思いやり

逆に「成果を出せない人」って
ずっと同じ失敗ばかり繰り返していて、

全然成長できていない。

**「成果を出せない人」は、
主観的には「知識量が増える」「年齢を重ねる」
などの微々たる変化で成長した気になっても、
客観的に見たら全然成長していない。**

学習が正しい方向性で出来ていて、
成長さえできていれば、

**例えば、恋愛シーンであれば、
普通に3カ月もあれば、セックスパートナーに
困らないレベルになるんですよ。**

「学習の仕方」さえ正しく出来ていればね。

例えば、経済面に関しても
「億万長者になりたい」とか、
「年収1億円になりたい」とか
色々あると思うんですよ。

それも学習の仕方が正しくて、
行動計画や戦略さえ間違っていなければ、
10年もあれば誰でもなれるんですよ。

他にも

「男女問わずに人気者になりたい」

「女性関係をコントロールできるようになりたい」

っていうのでも一緒ですよ。

そんなに時間かからないですよ。

2~3年もあればそういう現実というのは
作っていけるようになるんですけど、
多くの方は、近づきすらしないし、
全然、達成できないですよ。

ましてや、
5～10年が経っても達成できないのは、
「学習の仕方」が下手なんですよ。

**「学習の仕方」っていうのは、
ものすごく大事。**

みんな「ノウハウの良し悪し」とかは
気にするじゃん。

カメ「そうですね。」

「こういうフレーズが使える」とか、

「この人の実績がすごいから
ノウハウもすごいに違いない」とか、

もちろん、それもそれで判断基準の一つとしては
良いと思うんですけど。

そもそも、どんな良いノウハウや情報で学んでも
「学習できない」なら全く意味ないよね。

そもそも「学習とか成長って何なのか？」
というのは僕自身の定義だと

「世の中への適応」

(=求めているジャンルへの適応)

なんですよ。

例えば、モテるっていうのであれば、
「女性が求めているものに対して
適応してけばいいだけ」

だよ。

もちろん、個別で女性の好みみたいなのは、
ある程度は変わってくるんですけど、
「おおまかな8割9割の女性が好む共通部分」
ってのはあるわけだよ。

「ファッション」とか「トーク」とか
「考え方」とか「デートの仕方」とかを
女性に適応していくってことだよ、

仕事に関しても同じで、
大企業で働いたり、公務員であれば、
会社や組織の文化に適応するしか
生き残っていく道はない。

もしも、変化を取り入れたい場合でも、
ああいう大きな組織になっていくと、
適応した上で、少しずつしか変えていくしか
出来ないわけですけど。

例えば、小さいベンチャー企業とかであれば
組織への適応以上に、

世界が求めているものに適応して、
みんなが欲しがるものを
世の中に提供してくことだよ。

そういう良い商品を作って、
みんなが違和感ない感じで
受け入れてもらうようにしていく手法が
マーケティングです。

マーケティングもセールスも

「相手の心理に適応して

相手が欲しい、相手を買っても良いよ」

って思ってもらおうこと。

全部、適応なんですよ。

適応せずに、自分の考えや主張を

相手に押し付けても、それは

セールスで言えば「押し売り」になってしまう。

ナンパとか、女性を口説く時でも一緒に
女性の感性や好みに適応せずに、

「セックスしたい」「彼女欲しい」

というのは「押し売り」ですよ。

「セックスしようよ」って言っても、
大半の女性はセックスさせてくれない。

中には、誰でも簡単にセックスさせる女性も
いるんですけど、まともな精神状態の女性なら
ありえないですよ。

※適応とデザイン

望む結果を出せるようになる人間になるための
成長には「適応」が大事なんですが、
「デザイン」も重要。

「デザイン」とは、
「理想像」を明確にして、それに現実世界に
落とし込んでいくということを意味します。

例えば、モテる男が取る態度、話し方、言葉遣い、デート、などの理想像をデザインして、それを身につけていくことです。

もちろん、一人勝手なデザインではなく、「女性にモテる」といったことであれば「女性の感性に適応」した上での「モテる男像のデザイン」が必要になります。

「適応」のもう一歩進んだ話になりますが、覚えておくと良いでしょう。

別の音声や講座で、また詳しく解説します。

「適応するための成功プログラム」を「脳にインストールする」ってのが、成長と学習な訳ですよ。

「新しい知識を入れる」とか、

**「新しい経験をする」とか、
これらが成長とか学習じゃないんですよ。**

このように勘違いしている人が多いです。

カメさんは、こういうところあるでしょ？

カメ「めちゃくちゃ勘違いしてます」

新しい知識が入れば「俺は成長した！」

みたいな？

カメ「そうですね」

カメさんがやってることって

女性にモテたいのに

「AV女優全部覚えたら成長している」

みたいな風に思っているのと一緒。

アダルトビデオのマニアの中では

すごいなと思われるかもしれないけど。

それで人生が大きく変わる？

カメ「変わらないですね。」

「適応」じゃないんだよね。

カメ「適応じゃないですね」

自分にとっても意味ないじゃん。

カメ「意味ないです」

簡単に言うと、そういう話なんだよ。

よく「スキル（能力）」の話をするけど
スキルってのは「適応する力」のことなんだよ。

「何が出来るのか？」っていうのが、
「スキル」なんだけど、

「目的に対して適応すること＝スキル獲得」

なんだよね。

ビジネスにおいて「セールスの役割を出来る」
ってというのが適応。

セールスマンでも市場が違えば
「市場の事をちゃんと知らないといけない」
わけだよ。

ダイエット業界とか、恋愛業界とか、
機械機器業界とか、医療業界とか
色々あると思うんだけど、
その業界に適応しなきゃいけない。

業界ってのは
「（その業界に関わる）人たち」なんだよね。

例えば、歯医者さんに下ろすレントゲン機械を

セールスするには、歯医者たちの価値観とか色々知らなきゃいけないでしょ？

それが適応。

彼らの心理に適応していく必要があるわけだよね。

「身だしなみ」とか「話し方」とか、「考え方」とかもそうだけどさ。

例えば、ホストをやるんだったら、ルックスを適したものに換えなくてはいけない。

今だったら「韓流アイドル」っぽくしたり、ビジュアル系とかロックバンドっぽいのも今も人気かな。

ジャニーズとかのアイドルっぽいとか、そういうルックスにしなきゃいけないよね。



《韓流ホスト「早乙女サラン」さん》



《ビジュアル系ホスト「白兎」さん》



《ジャニーズ系ホスト「蓮士」さん》

ホストみたいなルックスで、
車のレクサスとか高級車を売ってたらどう？

カメ「ヤバいです」

ヤバいじゃん。

「場」に適してない身だしなみだよね。

まずは「適応するかどうか」が大事。



《レクサス青山セールスマン 藤崎文明さん》

引用：<https://president.jp/articles/-/27680?page=1>

**適応しないと、
相手の人間ってのは「違和感」を感じて、
受け入れる事が出来ないんだよ。**

もちろん「違和感のギャップ」から良い方に
持っていくことが出来る人もいると思うよ。

でも、そんな難しいことができるのは
極々少数だし。

みんなが、そんなんじゃないギャップにもならないし、
おかしい話だよね。

だから、高級な商品を扱っているなら
良い靴履いたりして高級感のある身だしなみ、
高級感のあるサービスをしなきゃいけないよね。

「なんで身だしなみをしっかりと
整える必要があるのか？」

と言ったらそれは

「相手が求めているから」なんだよね。

そういうシンプルな動機なんですよ。

例えば、日本ってエルメスとかグッチとか高級ブランドが売れやすいらしいんですけど。

※高級ブランドを購入する層の世界市場の10%が日本市場というデータがありますが、中国は2019年時点で35%です。1985年には世界の高級品売上高のうち55%を日本人が占めていたそうです。

今は「一般人でもハイブランドを持っているのが普通」になったんで魅力が薄れたため、本当の金持ちが離れたのも、購入シェアが減った大きな原因の一つとも言われています。

何年か前に、僕はハワイに行ったんですけど、アメリカってブランド物が

日本よりも安いんです。

それぞれのブランドの正規店でも

(関税などの関係で)

日本だと30万円のバッグだったら

20万円くらいで売ってる感じ。

でも、ハワイの店は、

正規店なのに接客が酷いからね。

エルメスの財布を買おうかなって思って、

見てたらガラスケースに入ってるんだけどね。

そこから、出す時も手袋してんだよね。

その店のスタッフの人がガラスケースから

出すんだけど「ポーン！」って投げるように

ガラスケースの中から出してきた(笑)

ガラスケースの上にポーン！って。

日本のハイブランド店だったら、
ちゃんと置く場所に丁寧に置いて、

「よろしければコチラを
お手にとって見て下さい」

みたいに丁寧な接客じゃん。



《日本の高級ブランドの接客イメージ》

ポーンって投げるように商品を扱って、
そこらの辺にある格安の路面店みたいな
雑な接客してくるんだよね。

正規店なので、服装とか身だしなみは
ノウハウみたいなものがあるんだらうから
ピシッと綺麗にしているんだけど、
態度が酷い。

大体そんな感じの店が多かったから
ビックリしたね。

エルメスの財布なんかは、そんな雑な接客でも
20万円半ばくらいはするんだよ。
日本だと40万弱くらいはするかな。

それをポーン！て投げるように置くんだよね。

ただ、正規店で安いから、僕の場合は
「別に良いや！」と思って買うんだけど(笑)

ハワイとか海外の方が同じ正規店で金額も安いのに、なんで日本で売れるかっていうと

「俺を大事に、丁寧に扱って欲しい」

「もっと高級感出して欲しい」

っていうブランド感が大事だし、お客さんは求めている。

これも適応しなくちゃいけないよね。

女性と関わる時も同じで、オラオラしてもモテないから今だったら紳士系というか、優しい雰囲気の方がモテやすいよね。

こういう「**時代の感性に合わせる**」とか、そういう部分も大事って事だよね。

元々持ってるキャラクターとか
そういうのも活かしながらだけど。

こういった「適応」を考えないで
無駄なことばかりしてるから、

恋人とか親友いなくて孤独だったり、
何やっても失敗続きになってしまうわけだよ。

結果を出すために必要なこととして
いつも言っているけど、

**「負けパターンを捨てて、
成功パターンを続ける」**

このパターンを掴んで構築するって事が大事。

適応できる成功パターンを掴むことで

- ・仕事ができる

- ・女にモテる
- ・ナンパが上手い

っていう風になっていけるわけだよ。

簡単に言うと、

**「僕らは人間社会で生きている」のだから、
「他人の人間心理に適応していくこと」
が大事なわけだね。**

その上で、

**「自分の負けパターンに気づいて
勝ちパターンに変えていく」**

そのために大事なポイントは、
代表的なものが2つあって、

1つ目が「**フィードバック**」だよな。

これすごく大事で、多くの方は
自分自身の負けパターンとか、
改善点、直すべきポイントに気づけない。

そもそも、

「自分の弱点、改善点なんて見たくない」
ってパターンが多いわけだよね。

だから、

「客観的な意見をもらおう」

ってというのがすごく大事。

ジゴロパンダのところには、

「モテたい」

「彼女ほしい」

「ナンパ上手になりたい」

って人がたくさん来るんだけど。

例えば、みんな、ファッションに関しても、
「俺の服装はイケてる」「まともだぜ」
って感じで来るんだよ。

でも、そういう人のルックスは
「女にモテたい」
っていう人がする服装じゃない。

相談に来たり、セミナーに来てくれたりする
9割の人がそんな感じ。

カメさんもそうだよな？

カメ「僕もそうですね。」

いまだに、ファッションも放っておくと、
ゲイみたいな服装をしたり、
ジーパンもダサい感じで折って(笑)

もちろん折るなら折るで

「オシャレな人は狙って折ってるんだよ」
ファッションはバランスだからさ。

ただ、普通のTシャツ着て、ジーパン折ってたら
ただの理系のダサい男子だよな。

※ロールアップは、雑に折るだけだと

「だらしない印象」を与えてしまいます。

「ジーパンのシルエットの乱れを無くするため」

「ブーツやスニーカーを見せるため」

など色々な目的がありますが、ロールアップは、
オシャレ上級者向けのものだと思って、
ファッションに精通してから
チャレンジしてください。

個人的には、暖かい気候の時期に、

「ゆったり目のラフなシルエットで、
足元を目立たせたい。涼しげに見せたい」
という時にロールアップは最適だと思います。



《ダサイロールアップ》

引用 : <https://elife-media.jp/1051>



《オシャレなロールアップ》

カメ 「そうですね。イケてるって思って」

イケてるオシャレな人が折ってんだから、
「今日は俺も折ってるからイケてる」
って思ってたんだろ？(笑)

カメ「思っていました」

例えば、金髪にしてる男の子もそうだよな。

カメ「います」

東大とか北大とか、地味な大学に行くと
金髪にしている男の子をよく見る。

多分、俺はクラウドみたいにイケてると思ってる
と思うんだよね。「俺、美形だからよ」みたいな。

※金髪が似合う人と似合わない人

「金髪」の与える印象として

「華やか」「クール」といったものがあるので、

顔自体も「肌のトーンが色白」「中性的」
「目鼻立ちがはっきり」「可愛い系よりクール」
などの人が似合いやすい傾向あります。

例えば、金髪ギャルもスツピンだと
顔が地味な人が多いので違和感ありますが、
濃いメイクにすると顔と髪のバランスが取れます。



《BTSのV（ヴィ）さん 金髪が似合う》



《嵐の二宮くんは金髪が似合わない》

バンドマンでも、そういうところあると思うんだけど、似合わない人が無理やり金髪にしてもダサいじゃん。

カメ「ダサいですね」

っていう事。

他にも「言葉選び」とか「話し方」とか
「自分では気づけない部分」
ってすごく多いと思うんですよ。

僕自身も、女性や友人、先輩などに
改善点を指摘されたら直してきたんですよ。

女性に何か文句とか、間違いを指摘されても
「1回で直す努力」をするんだよね。
これがすごく成長に繋がる。

めっちゃ簡単な話なんだけど、
多くの人って直さないんだよ。

僕が教えてるのであれば、
直してもらえないのは僕自身が悪いんですけど。

「僕との信頼関係」とか
色々があるとあ思うんで。

「俺、意外とイケてるんじゃない？」と思って
「自分を変える必要はない」という自己イメージの
ためか、ピンと来ないからか、直さないんだよね。

**他人からのフィードバックを
素直に取り入れる事ができるかどうかで、
すごい成長速度の差になります。**

これが出来ない人は
すごく成長が遅いですね。

僕自身も、すごく凡人で特別な才能もないし、
昔は全くモテなかったし、ダサかったのですが
1回指摘されたり、アドバイスされたら、
素直に直すのを繰り返してきただけなんですよ。

ただただ、この違いだけなんですよね。

**「アドバイスを受けてたり、指摘されたら、
素直に直すことを繰り返すだけ」**

めっちゃシンプルじゃん。

多く人は「プライド」みたいなものが邪魔をして、直さないんだよね。

2つ目ってのは

「必要な知識と経験の組み合わせ」

っていう事。

**「今の自分に必要な知識を増やしていく」
っていうのが重要で、
「今の段階に不要な情報や知識を増やす」
のは活用できないから非効率になる。**

さっき言ったみたいに、

「無料で調べた情報で十分です」みたいな人ほどこの非効率なパターンに入りやすい。

もちろん良い情報に出会ってれば良いんだけど、**実践経験が少ない時って**

「情報の良し悪し」

「どの情報が今の自分に必要か」

「結果を出すために必要な情報と不要な情報」

の見極めができないから

非効率な悪循環に入ってしまう。

※プロを目指すレベルで真剣に取り組んで最低3年
そこそこくらいの真剣度で取り組んでいる場合は
最低10年は経験ないと、そのジャンルにおける
専門性は身に付かず、情報の取捨選択は
出来ないと個人的な感覚では思います。
情報選びは、これくらい難易度の高い話なのです。

僕自身も若い頃は全く情報の見極めが
出来ていなくて、無駄で非効率な勉強や
インプットばかりしてきました。

世の中に出回ってる情報と違ってのは

すごく質が低いものが多い。

特に、今現在、日本の書店に並んでるもの
ってのは、2~3ヵ月でゴーストライターが
パッパッと簡単に1冊の本を書いてるんだよ。

アメリカの本とか、海外から入ってくる本は
読み応えのある本が多いと思うんですけど、
ああいうのって何年もかけて1冊の本を
書くらしいんだよ。

それは、当たり前だけど、
1冊にかける時間が数ヶ月と数年の差だと
「質の差」になるのは当然だよな。

※最近の日本は、読書離れが進んでいて本が
売れづらかったり、活字を読めない層が
増えているので、そういった市場の変化に
対応するためです。ミステリー、歴史、とかに
関する小説などはしっかり書かれたものも

多いので、読者にレベルを合わせているとわかります。

カメ「そうですね」

日本の映画も同じように、少女漫画を実写にしました！みたいな映画を製作する際も予算が少なくても十億円もないだろうね。

何億円とか、そのくらいのレベルだと思う。

撮影期間もめっちゃ短かったりとかしてさ、俳優さんも準備期間ない中で、よくやってるよ。

逆に適応能力すごいけど。

進撃の巨人の実写版とか、クソつまんなかったじゃん。

よくそんな中で映画作れるよね
って逆に思うんだけど。

市場が小さいからか、
映画売上が一本一本少なくて、
よくても何十億とか。

大して利益が出なくて、
そんなに儲かっていない。

だからこそ、数をバンバン出す戦略で
やらざるを得ないっていう環境も
あると思うんだけど。

例えば、ハリウッドとかの映画製作の状況とか
を調べるのが、僕は好きなんですけど、
制作費とかも見たら基本何百億とかなんだよ。

アベンジャーズとかスパイダーマンとか

代表的なものだと製作費に何百億円もかけて、
それで、何千億円も回収するんだよ。

（市場が世界規模という背景のため）

だから、製作の準備、リサーチ、に
何年もかけるんだよね。

身体作り、キャスティング、市場リサーチ、
とかもそうだし、何年もかけるから
より良いものが出るわけだよ。

あと、

ネットにある情報でも、フェイクニュースとかで
問題になってますけど、少し前にDeNAの「WELQ」
という情報サイトで、

何の信頼性もない、簡単に素人が書いた
医療系のフェイクニュースみたいな記事を
量産して問題になってたよね。

例えば、カメさんに「医療系の情報書け」って言われて書いているようなレベルの記事。

医療系の知識ないでしょ？

カメ「ないです」

でも、カメさんみたいな素人に、「こういうテンプレートに従って書いてね」って指示を出して、ブログサイトの記事を何千記事も量産して儲けてたっていう問題。

「WELQ」が問題になってから、医療系の記事は医者とか权威性がないと書いちゃいけないとかなんか色々そういうルールが出来たり。

っていう風に、マスコミとか書籍ですら、どの情報っていうのも、とりあえず数を打って、当たって儲ければ良いみたいな感じとか、

色んな売り方があると思うんですよ。

「責任感を持ってない情報」

ってたくさんあるわけだよ。

特に、インターネットは
より多いと思うんですけど。

**※恋愛関係のブログなどのメディアで
記事数の多いものは大半「WELQ」のように
恋愛経験も浅い素人が書いていますので
情報の見極めが必須です。**

実際、本を見ても「質が低いな」って思うのが
すごく最近増えてると思います。

最近は活字離れが進んで、ジャンクな薄い内容
じゃないと、一般の人は買わないみたいなの
もあると思うんですけどね。

フェイスブックもフェイクニュースで有名ですよ。

僕らフェイスブックは出版社じゃないから、

「ユーザーの方が投稿した情報にまで、
責任は持ちません」

って言い放ってるんだよ。

(2021年6月時点)

それが今、フェイスブックユーザーが
多い海外では社会問題になってるみたいですね。

フェイクニュースの方がみんな見るのさ、
面白いからね。

真面目な話って、刺激なくて退屈じゃん。

「幸せなおじいちゃんとおばあちゃんが
ある町で幸せに暮らしています」

じゃなくて、

「おじいちゃんとおばあちゃんが
憎み合って殺し合いしました」

みたいな方が見るよね？

カメ「見ますね。」

「おじいさんがおばあさんの目玉をえぐりました」
の方が「えっ？マジで！」と驚きになるじゃん。

カメ「見ますね。」

例えば、

「大物俳優と大物女優が幸せに暮らしてます」
だと「良いな」と思うんだけど、
ファン以外は見ないじゃん。

「大物芸能人夫婦がダブル不倫していました」
とかの方が興味もって見るじゃん。

カメ「良いですね」

「感情を煽るもの（あおるもの）」の方が
視聴数が増えるから、フェイクニュースとか、
ゴシップニュースが多くなるんだよね。

あと、

アフィリエイトとか広告収入で稼ぎたい人は
結局「収益をあげなきゃいけない」
というのがあるから煽ってでもユーザー数を
増やしたりしていく人もいるから。

僕自身も売上増やさなきゃいけないし、
長く活動していきたいってのもあったり、
本気でちゃんと成果だして欲しいとか、

色んな思いもあるから
出来るだけ真面目なノウハウ情報を

出してますけど、多少は煽りも必要ですよね。

情報販売系の市場を見ていると

「お金稼げれば手段はなんでもOK」

「さっさと稼いでセミリタイアしたい」

「不労所得を得て海外に移住したい」

って人も多いよね。

多分8割以上が、そうだと思うんだよね。

今の世の中は、色々な情報があり過ぎて、ちゃんと情報を見極める目を持たない限りは最短で望む結果を手に入れるのは難しい。

僕自身もたくさん無駄な労力、時間、お金などをかなり「損」してきてるからね。

かなり余談になってますけど。

ベストな情報、ノウハウを見極めるための
最終的な結論を話すと、

「人を見る」

ってというのが良いですね。

「何の情報か」じゃなくて、
「誰が話すか」っていうこと。

もちろん、ただ辞書的な情報として

「ソフトウェアの使い方」
「アプリの使い方」

とかそういうのだったら
誰が発信源でも良いんだけど。

ただし、

人を見極めるのも、非常に難しいです。

あと、

「必要な知識や経験」を厳選するためには、

「自分自身の過去の経験から
こういう負けパターンがあって、
それが原因で今のこういう状況があるんだな」
という経験だったり、

「この理論を取り入れたら
こういう風になるんだな」
という「知識」。

**「知識」と「自分自身の経験」の両方を
ちゃんと組み合わせていくのがすごく大事。**

特に **「自分自身の過去を見て、分析する」** と
すごく分かりやすいと思うんですよ。

今のカメさんが

「なんでモテないのか？」

「なんで友達がいらないのか？」

「なんで親友がいらないのか？」

「なんで仕事で評価されないのか？」

とかね。

全てに「**原因**」があるわけだよ。

これが「過去」としてね。

この「上手くいかない原因」に
ジゴロパンダが教えた「負けパターン」と
「勝ちパターン」とかを学んで、

「自分自身のパターン」に気づけるようになる。

「自分の失敗パターンを、
今度はこうして新しい成功パターンに
変えていけば上手くいくようになる」

とかっていう風に

**「過去・現在・未来」っていう風に
「ダメな過去⇒現在の変化⇒望む未来」
と結果を変えていくんです。**

これが「自分自身の経験」と「知識」を
組み合わせていくって事だよな。

これはすごく大事。イメージつく？

カメ「はい。自分の過去と照らし合わせていく」

そこが一番簡単っていうか、
分かりやすいだろうな。

カメ 「納得しやすい」

負けパターンの理解としてはね。

カメ 「はい」

ってことをやってく。

その「最初の始まりになる自分自身の情報」
が間違っていたら、どうしようもないけどね。

例えば、カメさんの最初の目的として

「セックスをしてみたい」

というのがあって、少しはできるようになってきたと思うけど、

**「”出来なかった頃”と”出来るようになったこと”
で何を具体的に変えたのか？」**

って考えたら 「色々なパターンの変化」

があるよね。

それに気づかないで

「何となく気分でやっている」と
また気分次第で成果出なくなったり、

「なんで成功するのか？失敗するのか？」
って自分で説明出来ないとノウハウや経験値が
蓄積されないから、再現性が無くなる。

「このトークの反応がいい、
このトークの反応が悪い」

「こういった表情の反応がいい、
こういった表情の反応が悪い」

「この考え方でいるとコミュニケーションが
上手くいかない」

とか明確に、具体的に理解することが大切。

これが

「自分の経験と組み合わせる」

って事ですよ。

抽象的な事だから

色々な例を出して話したんですけど、
イメージついた？

カメ「はい」

OK！

「フィードバックが大事」で

「必要な知識と自分自身の経験との
組み合わせ」

ってことですね。

あとは、

結局のところ、

**「師匠選び次第」で10倍100倍って
成長が早くなっていく事実がある。**

本当は、映画に出てくるような

「超絶すごい達人」みたいな人がいいんですけど
「恋愛ジャンル」じゃ滅多にいないので。

女の酸いも甘いも噛み分けた70代の達人の
爺ちゃんって滅多にいないですよ。

ベストキッドって見たことある？

カメ「見たことはないです」

イジメられっ子の少年に

ミヤギって達人が空手を教えて、

イジメっ子に勝つみたいな話。

師匠のミヤギが少年にペンキ塗りとかの雑用をやらせる訳だよ。

「ペンキ塗りの動き」が
「強くなるための動き」になるんだよね。



そうやって色々と教わるんだけど、
そんなの達人にならないと分かんないじゃん。

カメ「達人の視点じゃないと分かんないです」

そういうもんなんですよね。

「出来ていない人」と「出来ている人」では
「見えている視点が違う」から、
自分の視点でやってたら
「一生負けパターン」に入ってしまう。

「出来ている人の視点・パターン」を
繰り返して身につけていけば、
少しずつわかってくる訳だよね。

世の中のどんな分野の成功者でも
基本的には「**師匠と弟子**」ってのが
ずっといたわけだよ。

「マイクタイソンとカスダマト」

「孫正義と藤田田」

「坂本龍馬と勝海舟」

とか。

僕自身もホストの師匠とか、
ビジネスの師匠とかがいました。

**世の中ってというのは師匠弟子、先輩後輩
っていう風に成り立っているってことですよね。**

この事実を理解するってことです。

スポーツ、音楽、ビジネスとかでも、
全部そうだけど

**「優秀な人とか成果出してる人ほど、
なぜ優秀なコーチを探してまで
つけるのか？」**

っていうと効率的に成長ができるからですね。

逆に、上手くいかない人ほど
コーチや先生とかをつけたがらなかったり、
先輩に好かれて教わろうとしない。

学び方の部分に関して

**「上手くいく人の真似をしたらいい」
と思うんですね。**

心理テクニックとか、トークフレーズとか、
表面的なものではなく「学び方」に関するもの。

「先生選び」は本当に大事。

医者選びでも同じだけど。

医者って、

「病気になる前」と

「病気になる後」
だったらどっちが強いと思う？

カメ「なったあと？」

なった後にしか、
あの人達は役に立たないわけさ。

「病名」ってあんじゃん。

カメ「はい」

医者は「病名」がつかないと
基本的にだけど治療できないのさ。

過去の統計でこういうホルモンが出てますと
だから「ホルモン治療」をしましょうとかさ。

ガンとかも同じで、
ガンが検査で見つかりましたので

放射線切りましょう。

こういう病気になった後の
「緊急医療」といったジャンルに強いんだよ。

でも、その前の「病気の予防」「健康」
って意味では医者は何もわかっていない。

昔の医者でも江戸時代とか、
今は中々いないけど、本当の漢方医とかは

ってというのは「病気になる前の予防」や
「健康」「免疫力上げる」とか
に強かったわけだよ。

逆に、昔の医者は怪我や感染症とかに
弱いわけだよ。

感染症での死亡率とか昔のデータみたら
分かるけど、メッチャ死んでるから。

要するに言いたいのは、

**「自分が求めているものを持って人から
教わらないと結果がズレちゃう」**

ってこと。

医者だから、

「なんでも身体について知っているのか？」
っていうと全然違う。

健康に長生きしたいなら相談する相手は
医者ではないんだよね。

怪我、骨折、感染症の危険性、などの場合は
医者は超強いから相談する相手として
ベストだよ。

例えば、トレーニングのジムもそうだけど、

ボディビル系の知識多いよね。

「強さ」とは違うじゃん。

カメ「強さとは違います」

マッチョになったって
強いとは限らないんだよね。

もちろん、筋肉やフィジカルも強いっていう
要因もあるかもしれないけど、

それだけではなく、いろんなバランスが
大事になってくるしさ。

じゃあ、筋肉だけの尺度で考えたら、
ブルースリーは超弱いじゃん。

※ブルースリーは片手懸垂50回できるほど
筋肉隆々だったそうです。ここでは

ウェイトリフター、トップボディビルダーなどと比較しての筋肉量が少ない、という意味です。筋肉バランス、筋肉の使い方、などを抜いた話。



《ブルース・リー》

カメ「そうですね。」

そういう話になっちゃうよね。

昔の武士も今のマッチョな人と
どっちが強いかって言ったら
おそらく昔の武士の方が強いと思うんだよ。

だって、刀や素手で人を殺すのをずっと考えたり
殺人術をずっと学んでるわけだからさ。

特に、戦国時代とかになると「柔術」とか
ああいうのだって、侍と無防備な状態で
戦うために編み出された術なんだよ。

こういうのを強さっていうのか分からないけど、
戦ったらボディビルの方は絶対負けるよね。

「全ての始まりは何を求めるのか」 なんだよね。

もちろん筋肉の美しさとかを求めるなら
ボディビルの方が良いと思うし、

人と倒すとか殺すとかなら
普通のトレーニングジム学ぶのは
絶対違うよね。

っていう風にね。

「師匠選び」「先生選び」でも
目的ってのは、すごく大事。

結局、なんども言いますけど。

経験豊富な人が、初心者とか子供に教えて、
伝達していくってのは人間の本能なんだよ。

自分の遺伝子、自分たちの民族を生存させて
遺伝子を残していくための本能。

この流れをちゃんと理解して

「託す」「託される」

っていうのは人生ですごく大事ですよ。

みんな分かっているとは思うんだけど、
ちゃんと活かしきれていない人が
すごく多いから。

**もっと「謙虚に他人から学ぼう」って
感覚を持った方が良いです。**

多分、昔はもっとあったと思うんですけど、
今と感覚として薄れていると思う。

なんか、世の中を見てると、
先輩後輩なんかなかなくて
「みんな人間は平等じゃん」
みたいな感じになっている。

カメ 「そうですね。なんか、
上の人から教えてもらおうとか、
あんまり無いなって思いますね」

先輩、上司、とかに言われても

「偉そうに何か言ってるぞ！この人！」
みたいなの。

そういうところあるだろ？

カメ「そうですね」

そういうもんじゃないんだよ、
上の人は偉そうにしなきゃいけないんだよ。

社長が社員にペコペコしてたら、どう？

カメ「いやあ、なんか」

嫌じゃん。

役割として、立場として、
上司、先輩、先生、師匠、には、
もっと堂々としていて欲しいよね。

先輩もそうなんだよ、全部ね。

もちろん、全く尊敬できない人だったら話を聞きたく無いのも仕方ないけど(笑)

「人生の先輩が後輩に伝えて、託していく」という「人類の仕組み」になっていうんだから、

ちゃんと生きていくために必要なことは学べるところはしっかりと学んでいくのは、効率的に生きてくのに大事ですよ。

注意点として

「間違えたノウハウ選び」

「ダメな師匠選び」

ってのは遠回りになってしまうってこと。

「あっちがいいよ！」

って言われてさ、
あっちに落とし穴があったらダメじゃん。

カメ「ダメです。」

例えば、高校野球でも有名だよね。

最近は分かんないけど、
昔は、やっぱり自分のチームが勝っていると
学校やPTAやOBや高校球界などの中で、
自分が立場偉くなるからさ。

例えば、高校に優秀なピッチャーがいても、
無理させてでも、めっちゃ投げさせて
肘とか肩を壊しちゃうピッチャーって
多かったって聞くよね。

これは才能が壊してしまうっていう
良くない話だよね。

メジャーという野球漫画の主人公は勝手に投げすぎて、肩を壊しちゃうけどさ。

無理、体調不良でも、ピッチャーに無理やり投げさせるって監督が多かったらしいんだよね。

って桑田真澄選手の本に書いてあったけど(笑)



《桑田真澄さんと息子のMattさん》

※桑田真澄さんは、プロ野球球団の巨人に
20年間も活躍した野球好きなら誰でも
知っているレベルの有名選手です。
タレントMattの父親としても有名です。

高校の監督なんかは、すごいらしいよ。

もう野球部の選手を軍隊のように扱うのに、
自分はタバコ吸って偉そうに指示出しているだけ。

カメ「へー」

ベンチでずっと酒飲んでる少年野球の監督も
結構いたらしいよ。

カメ「そうなんですね」

桑田さんが言うにはね。
しょうもないじゃん。

カメ「しょうもないですね」

**間違えたノウハウとか、間違えた師匠選びを
してしまうと、遠回りだと思うから、
真剣に選ぶべき。**

一時期そういうの調べたことあって、
ヤクザとかも同じらしいね。

例えば、良い親分は子分達に刺青とか
入れさせないみたいなんだよ。

最悪な親分は、
わざと社会復帰できないように
刺青をガッツリと入れさせたり、
小指を切断して詰めさせて、

みんなが思ってる「ザ・ヤクザ」に
仕上げちゃうとかね。

たった一つの出会いから
与えられる情報次第で、

- ・ 思想、マインド
- ・ 行動、生き方
- ・ 世の中を見る視点

といったものの全てに影響を受けて、
あなたの人生を大きく変えてしまう。

だから、先生、ノウハウの選択はすごく大事。

「情報の取捨選択」ってのは、
自分自身が成功と失敗体験を
数多く積まないとは判別ができないんですけど。

「実際に、数多くの経験を積んできた人生の先輩」
ってのは

「何が大事で、何が良くない」

ってのを見極めることができる。

その先輩から、いろんな話を聞いて、
「これをすると良くないんだよな！」
って気づいて、同じ失敗をしないようにした方が
成功するのがずっと早くなる。

先輩の体験を、自分の頭の中で、
イメージしたりして、疑似体験をしたりね。

「上手くいってる人」って
こういう事やってるわけだよね。

逆に、

上手くいってない人は、先輩から話を聞いても
「へー」って言って、言葉の表面だけを聞いて、
同じ失敗をずっと繰り返してる。

カメさんはそんな感じだよね。

これだと独学になってしまって
自分で失敗したり、成功したり、経験を積むまで
「何が無駄なのか？何に集中すべきなのか？」
って分かんないですよ。

**実際に、自分が経験を積む前に、
出来るだけ**

**「どこが失敗ポイントなのか？」
「成功するためのコツ」**

**などをわかっていた方が
「学べる気づき」も多いし、
「同じ失敗」もしづらいですよ。**

ノウハウ、情報、教材、ってのは
そのために学ぶものだから。

例えば、恋愛関係でも

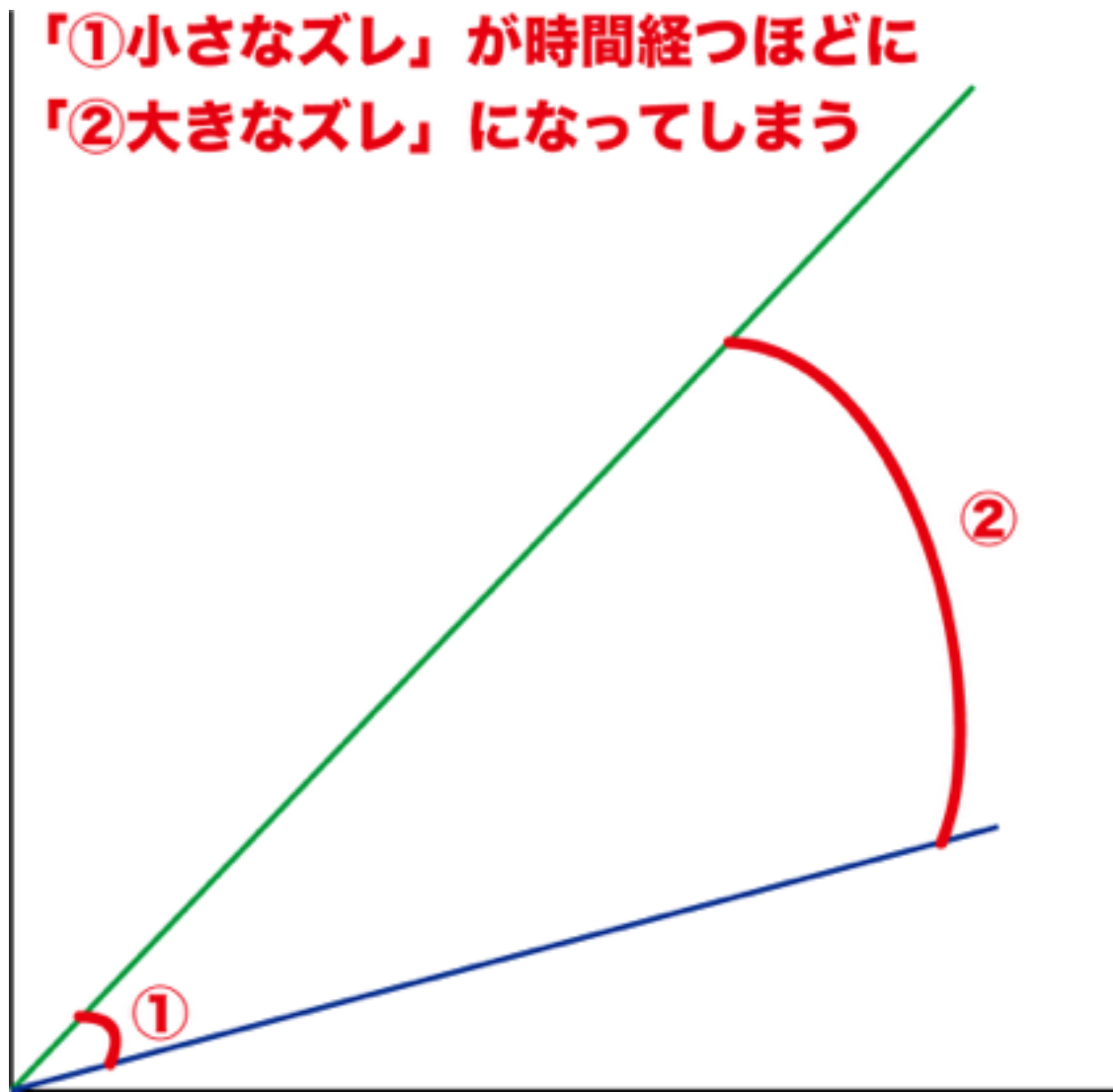
- ・色黒でマッチョにする
- ・街で歌わせる
- ・まずは美容整形した方が良い
- ・ブスでも良いから抱いておいた方が良い

とかだと、モテたいとか、女性関係や人間関係を充実させたいのであれば、ズレちゃうわけだよな。

- ・会話はテンプレートだけ
- ・女性を口説くのもテクニックだけでいい

だと後々に他人と信頼関係を築いたり、口説きたい女性のジャンルが変わってくると応用が利かないから困ってくる。

明らかに、望む人生の方向性と大きくズレてくるわけだよな。



「体験人数だけをひたすら増やしたい」

「いろんな女性とセックスだけしてれば
俺の人生は満足」

というのであれば「似た考え方の人」についていった方が良くと思うんだけど。

「自分自身の価値観や思想」「人生の目的」を理解して、そこにちゃんと照らし合わせた先生やノウハウを選ばないといけない。

一時期「貢がせる」どうのこうのとかも流行ってたけど、大半のホストみたいに寂しい人生を送りたいだけならそれで良く思うんだけど、

そうじゃないなら

「望む人格を構築していく」

などをしていかないといけない。

もちろん、僕自身も最初は女性関係を広げて行って、何百人何千人とか、色々な女性と遊んでも良いと思うんですけど、

そのあとに、

「家族を作って精神的に安定した生活が欲しい」

とか、

「他人と深い信頼関係を築いて
本当の意味の親友や仲間が欲しい」

といった気持ちがあるのであれば

「自分自身の人格」とか「魅力」を
少しずつでいいので高めていかないと、
あとあと困りますよね。

**テクニックはすぐに身についても、
人格形成は5年10年と時間かかるものなので。**

なんで、本当にね、

「師匠選び次第で、 人生の勝ち負けが大きく変わる」

ものなので、しっかりと考えながら、
選んで欲しいなと思います。

それでは、今日はこれで終わります。

今日も一日、楽しんでいきましょう！

ジゴロパンダ